

# 施設整備の基本方針について

## 1 第6回検討委員会での目的

- 宝塚市の新施設の施設整備基本方針を定める。

ごみ処理施設の整備を行うにあたっては、施設整備の基本的な方針を定める必要があります。

以下に、第3回及び第4回検討委員会が出された意見等をもとに作成した、基本方針の案を示します。

## 2 基本方針(案)

ごみは市民一人ひとりが排出することから、クリーンセンターの建て替えは、市民一人ひとりの課題です。また、近年クリーンセンターは、ごみ処理だけでなく、街づくりの中で重要な役割を担うようになりました。新たに整備するクリーンセンター（以下、「新施設」という。）も、ごみ処理だけの施設ではなく、子どもから大人まで幅広い年代の方々が集える複合的な施設とし、宝塚市民や施設で働く方が誇りと親しみを持てる施設とする必要があります。本市は、この認識に基づき、市民参加方式による「宝塚市新ごみ処理施設整備基本構想検討委員会」を設立し、以下の基本方針を取りまとめました。

### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『宝塚市の街づくりとしてどんな宝塚にしていくかということで、クリーンセンターの問題だけではなく、色々な街づくりの構想の中での問題としても考えていく必要が有るのではないか』
- 『文化的・歴史的な経緯といったものも「歴史的・文化的な特徴を十分に表すことができるもの」というふうに』
- 『「地域特性を活かした」という言葉も入れておいてはどうかと思います。』
- 『相乗効果をいかに狙うか』『やはり集合体でないと、花だけだったら花に興味が無いと来ないとか、別の物でもそれに興味がなかったら来ないとかになるので、やはり集合体にしないと。』
- 『複合的な目的を持った施設』
- 『そこで働く方が誇りを持って「宝塚のクリーンセンターに勤めている」という気持ちを持てるような環境づくりも大切』
- 『どういう付帯機能を持たせれば宝塚市民として誇りを持てるのか』
- 『市民に親しまれる施設』『親しみの持てるクリーンセンター』

## 方針 1 : 安全・安心で環境保全に優れた施設

近年のごみ処理施設は、環境保全技術の発展により、排ガス、悪臭、騒音、振動、排水等による影響を小さく抑えることができ、環境との調和がとれるものとなりました。

新施設でも、地球環境との調和に配慮し、資源の有効利用とエネルギー効率を含めた総合的な見地から、最良の環境保全技術の導入を検討します。また、安全性や危機管理についても万全の配慮を行い、地域や作業環境にとって安全・安心が確保された施設とします。

### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『例えば「安全」というのは先ほどから出てきていますし、当然第一にするべきだと思う。』
- 『安心・安全をトップに持ってきたらどうでしょう。』

## 方針 2 : 安定した稼働ができ、災害に強い施設

新施設は、宝塚市唯一のごみ処理施設です。不具合等で処理が止まってしまい、公衆衛生への影響が多大とならないよう、安定した処理を持続的に行う必要があります。

新施設は、導入技術の安定性を備えた施設とし、ごみ量・質による変動にも対応でき、長期間にわたり安定した稼働を持続的に行うことができる施設とします。また、耐久性を備え、災害時にも継続して処理を行うことができる施設とするとともに、災害時のエネルギー供給や避難所等の機能の導入についても検討します。

### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『あくまで安定して動くものを。』『まずは安定して、特に壊れることなく、壊れるところが出て、ここならこうしたら良いとある程度分かっているものにしておいた方が良いと思います。』
- 『巨大地震が起こるかもしれないので、この宝塚市の中に災害拠点として、万一の場合にエネルギーも自給できるし皆が集まれるような施設というような複合的な目的を持った方がよい。』
- 『震災の時には集える広い場所があるとよいと思います。』

## 方針 3 : 循環型の街づくりに寄与する施設

ごみ処理施設は、市民が生活しやすい街を支えるための施設です。今後も生活しやすい街を維持するためには、循環型の街づくりに寄与できる施設とすることが重要です。

新施設は、ごみに含まれる資源物は可能な限り回収し、ごみの持つ熱エネルギーを効率的に回収し有効利用するとともに、自然エネルギーを有効利用した創エネルギーシステムや省エネルギーシステムの導入についても検討します。また、施設を利用した環境学習を通して、市民の協力による循環型の街づくりを促進する施設とします。

#### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『資源がなくなっていくのでこれから循環的な街を作らざるを得ない状況の中で市民としてどういう役割を果たしましょう』
- 『せっかく出ているエネルギーを無駄にしないで使えるような考え方を少ししていかなければいけないのではないのでしょうか。』
- 『こういう公共施設ができるだけ自然エネルギーを使った発電施設を付けたらどうかと思います。』
- 『エネルギーとか環境、地域、その辺を考えた考え方が有るのではないか。』
- 『「生活しやすいような街を支えるための施設。そしてその未来のためには循環型であることが大事である」というような表現の方が良いと思います。』『生活する者の方が大事なのだという表現に描き直しませんか。』

## 方針4：経済性・効率性に優れた施設

ごみ処理施設は、市民や国民の税金により建設・運営されるものです。導入技術や設備は費用対効果に優れたものとする必要があり、改修についても考慮した設計とする必要があります。また、ごみ処理システムは、市民の協力の上に成り立つものです。人口動態等の社会的な変化がある中でも、分別排出等に対応できる施設とする必要があります。

新施設は、施設の計画・設計・建設から運営・維持管理・改修、収集・運搬、また市民の協力までを含めたごみ処理システム全体で、常に経済性や効率性に配慮し、ライフサイクルコストを縮減することができる施設とします。

#### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『経済性を入れているところも多い。』
- 『これから新たに作る設備もまたその先を考えて改修できるような考え方で設計をしておかないといけない。』
- 『市民の生活はこうなるとか、分別が凄く大変になるかもしれませんし、こういう理想は大変素晴らしいのですが、その結果どうなるか。』
- 『経済的である必要はあります。』
- 『「やさしさ」といいますか「ごみが出しやすい」という、宝塚市も山が多くて高齢化が進んでいる限界的な地域も多いということなので、「ごみが出しやすい」「安心して暮らせる」といったそういうアピールを含めていただければと思う。』
- 『高齢の人口を入れるというその「人口動態、社会的な変化に対応した」というところはどこかに必要でしょうね。』
- 『(排ガス等で周辺環境への影響が大きかった地域とは異なり、)ずっと良い関係できていることを強調できる面で方針4のこのタイトルはいいと思います。』

## 方針5：環境学習・理科学習の要となり、学べる施設

ごみ処理施設は、ごみと衛生という身近な問題をテーマとした環境学習に最適な施設です。また、物が燃える仕組みや、電気をつくる仕組みなど、理科学習の一環になる要素が集約しています。

新施設は、自然現象や、ごみ問題をはじめとした環境問題の「なぜ」を、体験しながら考えるきっかけとなる、環境学習や理科学習の要となる機能の導入を検討し、子どもから大人まで幅広い年代の方々が集い、楽しく交流でき、学べる施設とします。

### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『理科教育が地域からどんどん無くなってきた現代、その1つの要にこれからなっていく。』
- 『例えば太陽光発電の施設を造るとかして、エネルギーを勉強して貰えるような施設にしたら良いのではないかと。』
- 『ここに来れば子供も高齢者の方たちもみんな集える場所があるとよい。』
- 『市民も何かそれを楽しんでくれるという場所が欲しい。』
- 『市民が楽しめるとか、市民がそこに集まれるとか、そういう形にしないと発展はしないかと思いません。』

## 方針6：周辺の景観に調和し、市民に親しまれる施設

近年のごみ処理施設は、施設のデザイン面において周辺の景観との調和が求められるようになっていきます。宝塚市は、市全体の景観や環境に関する街づくりの方針として、「都市の景観が美しく調和し、花や緑に包まれた、環境にやさしいまちづくり」を掲げています。新施設が市内のどの場所に立地しても、景観に調和した施設とすることが重要です。

新施設は、エネルギーの有効利用や、市民の積極的な参加等により花や緑に包まれた施設となることをめざします。また、周辺の景観に調和し、訪れた人が憩える場所とすることで、市民に親しまれる施設とします。

### 【参考にさせていただいた主なご意見】

- 『花の道に象徴されるように、やはり宝塚は花の街なのかなと思います。』
- 『作る喜びを知るボランティアと言うか、子供から大人まで色々な形での参加型ということも考えていければ良いのではないかと思います。』
- 『市民が憩える場所、楽しい場所を造っていきたいなと思っております。』
- 『温水を使って育つ花ができれば、冬の花のない時期に花が育つなと思います。』『冬に素晴らしい花園がセンターに有ると人が足を運んでくれるかなと。』
- 『場所を特定するような表現にならないように方針6を少し書き換えるのはどうでしょうか。』